＜令和８年度 新規＞

一般社団法人名古屋林業土木協会会員のＣＮ、ＧＸ、ＮＰ、生物多様性、ＤＸ等の取組事例

※前回報告からの変更・進展がない場合も「継続」として現在の状況をご記入ください。新たな取組は「新規」としてください。

実施主体	大高建設株式会社			
区　分	**ＣＮ** **（カーボンニュートラル）** 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる取組。	**ＧＸ** **（グリーントランスフォーメーション）** 化石エネルギー中心の産業･社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換する取組	**ＮＰ** **（ネイチャーポジティブ・生物多様性）** 生物多様性の損失を食い止め、自然の回復を目指す取組。	**ＤＸ** **（デジタルトランスフォーメーション）** データやデジタル技術を活用して、業務・組織・プロセス等を変革する取組。
				○
取組名称	安全部長の現場知と生成AIを組み合わせた危険予知（KY）ボード			
取組の区分・状況	新規			
取組開始時期	令和8年度（現場写真を用いたKYボードの作成）			
前回からの変更・進展	安全パトロールの所見と現場写真を使い、事故につながり得る危険を作業前に洗い出す取組を始めた。			
現在の取組内容	安全部長が巡視で把握した作業手順・現場条件・注意点に、生成AIが写真から挙げた 危険の候補と対策案を重ねる。安全部長らが現場の状況に照らして確認し、対策と優先順位を決める。 写真上の危険箇所に番号を付け、危険の種類と対策を表で対応させる。 重点（赤）・改善（橙）・整理整頓（青）に色分けし、作業前の打合せで共有できる形にする。			
経　費	社内でボードの作成と集計の仕組みを整備。取組単独の経費は未確認。			
効果・成果	掲載の2事例で潜在的な危険を計16項目抽出（重点6・改善5・整理整頓5）。 屋外土工では重機転倒・接触や崩壊・転石、鋼材建方では吊り荷・はさまれ・フレーム転倒を重点とした。 蓄積した項目を作業別・危険の種類別・優先度別に数え、繰り返し出る危険や重点対策を把握する。 指摘は是正状況も追い、次の巡視や類似作業で先に確認する項目を決める材料にする。			
課　題	増水の条件や保護具の使用状況など、写真から判断しにくい点は現地で確認する。 分類や数え方をそろえ、同じ指摘の重複や分類のばらつきを抑える。			
今後の予定・展開	現場ごとのボードと是正記録を蓄積し、複数現場で繰り返す危険を分析する。 分析結果を巡視の重点項目と作業前のKYに反映する。			
備考・コメント	林野庁・富山森林管理署発注の出大谷災害関連緊急治山工事では、巡視時に敷鉄板の吊り上げで 周囲から人を退避させるよう指導した。添付は作業別のKYボード例。件数の単位はボードの項目。			

写真1　KYボード（屋外土工・渓谷）　8項目〔重点3・改善3・整理整頓2〕

危険予知活動（KY）ボード

安全パトロール 指摘事項（屋外土工・渓谷）

現場名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　点検日：＿＿＿年＿＿月＿＿日　　確認者：＿＿＿＿＿＿＿



凡例：● 重点（最優先）　● 改善　● 整理整頓（4S）　※印＝要現地確認

No	危険度	潜む危険（〜の恐れ）	対策
1	重点	不安定な盛土・法肩の上で重機が作業。片荷や地盤の崩れで転倒・法面下への転落の恐れ。	重機は安定した平坦地に据える。法肩からの離隔を確保し、敷鉄板等で接地を安定させ、誘導と作業手順を定める。
2	重点	稼働中の重機が複数台近接。周囲の人との接触・はさまれ、重機同士の接触の恐れ。	作業半径を立入禁止に区画。誘導員を配置し合図を統一。重機間の離隔と連携ルールを定める。
3	重点	掘削土の山・大玉石・上方の法面から、崩壊・落石・転石の転動の恐れ。	法面勾配を管理しこまめに点検。転石は安定集積。上方からの落石対策と立入制限を行う。
4	改善	渓谷・河原は上流の降雨・放流で鉄砲水／急な増水の恐れ。※河川区域・出水懸念を要確認。	上流監視・気象確認と警報体制、退避場所・経路と作業中止基準を事前に定める。
5	改善	坑口前のフレコン・大型土のうの荷崩れ・転倒、吊り作業時の落下の恐れ。※内容物を要確認。	内容物を確認・表示し、安定積みと転倒防止。吊り具・玉掛けの点検と立入禁止を徹底する。
6	改善	右のコンクリ構造物の開口で墜落・暗所/酸欠、鋼桁の錆・頭上落下物の恐れ。	開口部を養生し立入管理。暗所は照明とガス確認、頭上の浮き・落下物を点検する。
7	整頓	敷鉄板の段差・がたつき・濡れスリップ、河原の礫の凹凸で転倒・捻挫の恐れ。	鉄板の段差をすりつけ固定し、歩行通路を確保。不陸・濡れに足元注意の表示を行う。
8	整頓	晴天の屋外土工で熱中症、乾いた土の重機作業で粉じんの恐れ。	WBGT管理・水分／塩分と休憩・見守り。乾燥時は散水し、必要に応じ防じんマスクを着用する。

✓ 実施できている事項：法面のシート養生／敷鉄板の敷設

※本ボードは安全パトロール時の写真にもとづく指摘事項です。④の河川区域・出水の懸念と⑤のフレコンの内容物は写真から断定できないため、必ず現地で確認してください。

さい。

写真2　KYボード（鋼材建方・クレーン作業）　8項目〔重点3・改善2・整理整頓3〕

危険予知活動（KY）ボード

安全パトロール 指摘事項（鋼材建方・クレーン作業）

現場名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　点検日：＿＿＿年＿＿月＿＿日　　確認者：＿＿＿＿＿＿＿



凡例：● 重点（最優先）　● 改善　● 整理整頓（4S）　※印＝要現地確認

No	危険度	潜む危険（〜の恐れ）	対策
1	重点	クレーンで吊ったフレームの下・内側で複数人が作業。吊り荷の落下・振れで下敷きの恐れ。	吊り荷の下・旋回範囲に入らない。仮受け・盤木で安定させてから手を入れる。合図者と玉掛けを確認する。
2	重点	重い鋼材を人力で保持しながらボルト締め。部材間・地面との間に手指・足を挟まれる恐れ。	保持は仮ボルト・治具・仮受けで固定し手を入れない。合図で動作を一つずつ行い、手袋を着用する。
3	重点	自立前の鋼材フレームを人力保持。控え・仮固定が不十分だと転倒・倒壊し下敷きの恐れ。	クレーンで吊ったまま控え・仮ボルトで固定してから手を放す。建入れ直しと控えの手順を定める。
4	改善	1本30kg・計200kgの鋼材の手作業。腰痛、取り落としによる足の挟圧の恐れ。	揚重はクレーンを継続活用。手作業は2人以上＋補助具で行い、30kg超の単独運搬を避ける。
5	改善	雨上がりの濡れた砂利・水たまり・不整地で、滑り・つまずき・転倒の恐れ。	足場を整正し滑り止め・敷板。重量物保持中の足元を確保し、雨天時の作業可否を判断する。
6	整頓	地面に多数のH鋼が横たわり、つまずき・部材の転動／荷崩れの恐れ。	部材は安定置き・歯止めし、通路と仮置きを分離。整理整頓（4S）を行う。
7	整頓	素手とみられる手元、安全帯・雨天装備の使用が不明。挟まれ・切創の恐れ。	作業用手袋・安全帯（必要時）・雨天装備を徹底。着用状況を作業前に相互確認する。
8	整頓	雨で濡れた鋼材は滑り、玉掛け・視界も低下。電動工具のコードのつまずきの恐れ。	玉掛け・合図を確認し、強風／荒天時は中止。工具コードを整線し、濡れに注意する。

✓ 実施できている事項：ヘルメット着用／フレーム基部の桟木（敷板）／コーンで区画

※本ボードは安全パトロール時の写真にもとづく指摘事項です。安全帯（ハーネス）の使用状況など写真から判断できない点は現地で確認してください。プライバシー配慮のため作業者の顔をぼかしています。